

## 【総括コメント】

コメンテーター：九州国際大学現代ビジネス学部教授  
男澤 智治 氏

### <略歴>

1963年熊本県生まれ、1987年日本大学大学院理工学研究科博士前期課程修了、2014年日本大学より博士(学術)授与、1987年日通総合研究所(現NX総合研究所)入社、国内外の物流調査業務に携わる。2000年中村学園大学流通科学部専任講師、2004年九州国際大学国際商学部助教授、2017年より同大学現代ビジネス学部教授。

現在、日本港湾経済学会常任理事、日本物流学会理事、中国物流研究会メンバー。

主な著書として『港湾ロジスティクス論』(単著、晃洋書房、2017年)、『物流を学ぶー基礎から実務まで』(編著、中央経済社、2020年)、主な論文として「日本発・韓国発貨物の中欧班列への接続」(『LOGI-BIZ』2020年4月号)、「中欧班列と日韓発貨物の接続の現状と展望ー陸港の発展戦略と日韓の活用戦略ー」(『日本物流学会誌』No.29、2021年6月、福山氏と共著)などがある。